

第6回 11月27日(金)

「ウルドゥー語の辞書：辞書で読み解くウルドゥー語文化圏」

講師：萩田 博 東京外国語大学総合国際学研究院准教授

ウルドゥー語は主にインドやパキスタンで話されている言葉です。ウルドゥー語を母語とする人の数は少なく見積もっても6千万人以上います。また人口1億6千万人のパキスタンではウルドゥー語が国語であることもあり、全土で共通語として使われています。またヒンディー語とは文字や語彙の点で違いがあるものの、両者は同一言語です。ウルドゥー語は11世紀以降からインド亜大陸に進出してきたイスラーム教徒たちのもたらしたペルシアや中央アジアの言語文化が北インドの言語文化と融合して成立した言語です。インド料理として日本でもなじみの深いキーマカレーの「キーマ」や「ナーン」といった言葉が実はペルシア語起源のウルドゥー語の語彙であることもそうした事情を反映したものといえるでしょう。

今回はウルドゥー語の辞書の歴史を概観した後、1930年代に出版された絵入りの『職人用語辞典』や最近出版された『ウルドゥー俗語辞典』を中心にとりあげて、受講者の皆さんにウルドゥー語文化圏の生き生きとした姿をお伝えしたいと思っています。